



NAS

則武磨料磨具(蘇州)有限公司

則武磨料磨具(蘇州)有限公司

上海



■ NAS則武磨料磨具(蘇州)有限公司の紹介

則武磨料磨具(蘇州)有限公司(以降、NAS:NORITAKE ABRASIVES (SUZHOU) CO., LTD.)は、中国上海市から西に約100km離れた江蘇省蘇州市の開発新区に位置しています。NASは砥石の製造会社として、2012年2月に台湾カーボ社との合併により設立されました。その後、工場の建設を進め、2013年10月から本格生産を開始しました。中国の粗鋼生産量は世界の約半分を占めており、砥石の需要も莫大であることからNASでは鉄鋼メーカー向けに重研削砥石(3Z砥石)を製造しています。

■ 「重研削砥石とは」

ビルの鉄骨、電車、車から家電、スプーンまで、私たちにとって身近な素材、鉄。その製造には、原料を溶解して不純物を取り除き、鑄造して鋼片に



拠点紹介・海外クローズアップ

し、圧延する工程があります。この時、キズがある鋼片をそのまま圧延すると、キズが大きくなったり、ひび割れが起こったりして、鉄の品質が落ちてしまいます。そこで、活躍するのが重研削砥石です。圧延前の鋼片の表面を研削してキズを取り、上質な鉄づくりに貢献しています。

ノリタケでは重研削砥石(3Z砥石)の開発を1959年に成功し、以来鉄鋼業界のお客様に長くご利用いただいています。



「ノリタケ品質」を提供する

重研削砥石の製造は開発当初より日本(愛知県:神守工場)で行っており、日本国内はもとより、海外へも輸出しています。もちろん中国市場へも日本からの輸出で対応していました。しかし、グローバル化が進む現在、海外での生産拠点整備を進め、お客様に良い製品をより安く、より早く提供するためにNASが造られました。

当然、海外で生産するからと言って品質を落とすことはできません。「ノリタケ品質」の製品をお客様に提供することがNASの使命です。そのため、NASでは原材料の受入検査から工程内の管理項目、製品の最終検査まで、日本規格に準じたものづくりを行っています。

例えば、原材料に異常があると、どれだけ製造工程を管理しても良い品質の製品は作れません。そのため、全ての原材料に対して納入時に諸項目の検査確認を行い、不良原材料の工程内流入を防止しています。

重研削砥石の製造工程も日本と同じ管理項目・管理基準で生産を行っています。製造工程の責任者はNASでの生産が始まる前に日本で研修を重ね、ノリタケの品質管理のポイントを徹底的に学んでいます。「ノリタケのものづくり」とは「安全第一」「お客様第一」「品質第一」をモットーに世界中のお客様から信頼されることです。中国(蘇州)の地で生産活動を行っていますが、NASはノリタケのものづくりを学んだ責任者が品質の維持管理に取り組んでおり、「ノリタケ品質」の製品をお客様に提供しています。



「お客様に喜んでもらうために」品質保証課長 吳璋

現在、NASでは品質保証を担当しており、品質目標の達成や不良削減、品質管理レベルの向上などに取り組んでいます。

不良発生時は現場管理者と品質保証課で検討会を開催し、発生現象の把握・真因追求・再発防止策の立案・定着フォローまでを行っています。さらに従業員に対して毎月、品質ワンポイントを掲示して品質意識向上の教育を行い、「お客様第一」で高品質な砥石を提供するように努めています。

NASは2015年にISO9001-2008年版を導入し、翌2016年にISO9001-2015年版に更新しました。自分達の方で監査に合格したとき、特定の不良が低減できたときはとてもやりがいを感じます。一方、活動が計画通りに進まず目標達成ができないときは悔しい気持ちになります。

NASは今後も益々発展していく中で素晴らしい工場になると信じています。

「ものづくりにかける想い」製造部係長 陈晨清

世界に向けた製造工場としてお客様のご要望にお応えしていくためには「高品質な製品の提供」「納期遵守」が大切だと思います。そして、製造現場の第一線で管理者として働いている私は、お客様からの信頼を得るために、その責任を大きく感じています。

拠点紹介・海外クローズアップ

日々の生産活動の中では大小様々な問題が発生します。私は「確実に品質を保証」し、「納期を守る」ために、真面目に一つずつ確実に問題を改善しています。

例えば、製造工程内で不良が発生したとき、現象の把握から原因の推定、真因の追究、効果的な再発防止策の立案まで速やかに確実に行うことで、製造工程のレベルアップを図っています。

私たち一人ひとりが与えられた仕事に対して確実に責任を果たせば、必ずお客様からの信頼を得られ「世界ナンバーワン」になれると信じて仕事に取り組んでいます。

「世界のお客様に向けて、さらなる成長へ」

鉄鋼業界では、鋼材の品質要求が高まる中、世界的な価格競争が激化しています。素材段階でのキズ取り作業に使用される重研削砥石の需要は拡大傾向にあります。性能とコストの両面での改善要求が高まり、その方策として砥石の大型化による生産性の向上と原単位の低減が進みつつあります。特に中国やインド・ヨーロッパにおいてはφ915mm仕様の研削盤が多く導入されています。

この流れに対応するため、NASも新工場棟の建設・新規生産ラインの導入を行い、φ915mmの重研削砥石の生産を行えるようにします。

大きな砥石を製造することは想像以上に難しく、さまざまな技術的要素が必要となるため、製造部門と技術部門が一体となってこの課題に取り組んでいます。

2020年夏の本格稼働を予定しており、これにより世界的な需要が増加する大型重研削砥石市場への参入を可能とし、グローバルな事業拡大を加速させていくことでさらなる成長を目指しています。

さらには韓国・台湾・インド・アメリカ・ヨーロッパなどへの輸出も行い、ノリタケは「重研削砥石の分野で世界ナンバーワン」を目指しています。

